

[公財]いわて産業振興センター広報誌

産業情報

INDUSTRY INFORMATION IWATE

いわて

2025/2-3

Vol.233

★キラリ輝く★

岩手の
企業

花巻市

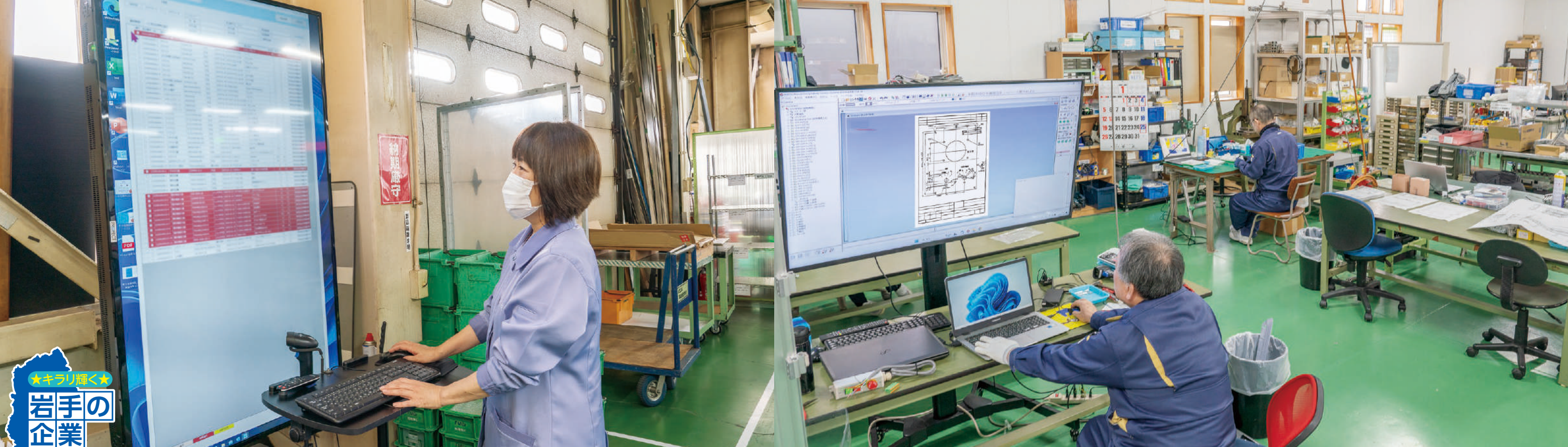
株式会社石神製作所・プロフェクト株式会社

現場で生きる生産管理システムで DX化に取り組む

各部事業紹介…6・7

岩手県の中核的産業支援機関

公益財団法人いわて産業振興センターをご活用ください…8



進捗状況が一目でわかるように、工場内に大きなモニターを設置している。在庫管理や出荷管理も可能。

作業中のスタッフに各1台の端末がある。これまで紙で見ていた設計図もシステムから抽出できる。(モニター画面の図面はイメージ)



現場で生きる生産管理システムでDX化に取り組む

花巻市に拠点を置く株式会社石神製作所は、自動機の設計・製造から組み立てまで一貫対応し、メーカーからの信頼を得てきた。一方で、自社をはじめとした中小製造業における生産管理体制の課題に着目。同じ課題を共有する全国の仲間とプロフェクト株式会社を設立し、生産管理システム「TED」の開発によって、高い評価を受け「いわてDX大賞2023」で「企業連携賞」を受賞し、快進撃を続ける。

花巻市 株式会社石神製作所 ISHIGAMI / プロフェクト株式会社 PROPECT

メーカーが厚い信頼を寄せる株式会社石神製作所

株式会社石神製作所は、1957年にもものづくりの会社として創業。現社長の阿部志郎さんは、3代目になる。花巻市中根子堂前にある同社の工場では、小さな部品や金型から、装置の設計、組み立てまで一貫して製造。あらゆるメーカーのニーズに応じて装置を製造することで厚い信頼を得てきた。

大量生産の工場や自動車メーカーの製造ラインにおいて、オートメーション化は重要課題だ。高品質でかつ納期を守るため、製造ラインへの自動機を導入することを検討するメーカーが多い。

そんな中で、株式会社石神製作所は、センターが主催するセミナー等にも積極的に参加。新しい知見を取り込みながらさまざまなメーカーの要望に応じて自動機を製

造している。1台から量産までオーダーメイドで対応することから、その評判は全国に及び、商談会に参加すると、装置を製造してほしいメーカーから熱い視線が送られる。

中小製造業のための生産管理システムを開発

中小製造業は、多種多様な部品を製造している。株式会社石神製

- 1 「生産管理システムTED」のトップ画面。生産管理システムでは、受注管理、進捗状況の把握、在庫管理まで行う。マネジメントシステムも。
- 2 システムに進捗を入力しているから、どこまで工程が進んだか一目瞭然だ。



作所も同様だ。現場では、それぞれの品質を追求しながら、納期までに生産体制を整える必要がある。部品の大きさや形状、精密さは、メーカーからの注文によって異なる。製品によって設計図も違う。現場で作業するスタッフは、毎日が新規への挑戦であり、新しいアイデアを生み出しながら製造に取り組んでいる。そんな製造業の現場において、頭を抱えているのが「何を何個、いつまでに作るか」という生産管理体制の構築だ。

そこで、今から20年前の2005年。株式会社石神製作所社長の阿部志郎さんは、同じように生産管理体制に頭を抱えていた全国の中小製造業の経営者やシステムエン

지니어20名とタッグを組み「生産管理システム」の開発に乗り出した。それがプロフェクト株式会社だ。

現場を知るからこそ作れる生産管理システム

当時から中小製造業を取り巻く問題は山積みだった。働き方改革で職員の労働時間が減る一方で、新しい人材は増えない。そして、ものづくりの業界において優秀な人材は、職人気質であるが故に品質にこだわり、時には労働時間を超えてしまうこともあった。株式会社石神製作所の現場でも、何度も既成の「生産管理システム」を導入してきた。しかし、その多くが受注管

理システムとしては要件を満たすものの、部品の種類が多く、取引先や納期が異なる中小製造業の現場にフィットするものではなかった。「システムを作るスタッフは現場を知らない。現場のスタッフは、システムの仕様を伝えることができない。中小製造業の現場で使える生産管理システムを作るには、現場を知る人間が開発に携わらなければ」と話す阿部社長。約20年前から、現場を知る全国の中小製造業や、メーカー、システムエンジニアと試行錯誤しながら生産管理システムを構築してきた。それが「生産管理システムTED」だ。

アナログな経営をデータ化 業務管理のDXでロスをなくす

「生産管理システムTED」は、今では株式会社石神製作所の工場内ではなくてはならないものになっている。スタッフの傍には、必ず一台の端末があり、必要であればすぐに設計図をモニターに映し出し、拡大したり、角度を変えて見たりすることで作業しやすくなっている。また、工場内の閲覧しやすい場所に大型モニターを設置し、製造が遅れている案件も一目でわかるようになっている。

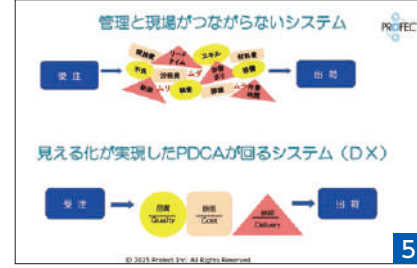
これまで、中小製造業の現場は、社長の勘や経験、度胸といった主観に基づいたアナログの経営が多かったが、「生産管理システムTED」を導入することで、時間のロスがなくなり、データに基づいて会社を経営できるようになった。

DX大賞の受賞など 業界をアップデートし続ける

「生産管理システムTED」は、中小製造業のDXに貢献。プロフェクト株式会社は「TOHOKU DX大賞2023」優秀賞と東北経済連合会会長賞を受賞し、さらに「いわて



DX大賞2023」企業連携賞を受賞。DXに関する数々の賞を受賞した。今後は、全国の中小製造業の会社にシステムを周知し、導入拡大を目指す。2024年には東京本社を開設し、システムと中小製造業を取り巻く環境のアップデートを続ける。



- 3 工場の自動機は、安定した部品の量産を可能にする。
- 4 工場内は整理整頓を徹底。進捗状況の見える化に加え、工具や部品も管理し、ロスをなくす。
- 5 TEDによって「見える化が実現しPDCAが回るシステム(DX)」に。

技術ポイント TECHNOLOGY POINT

「生産管理システムTED」は、受注・生産から在庫管理までのワークフローを一気通貫で「見える化」した、中小製造業向けのクラウド型生産管理システム。製造業に携わる企業の経験を活かし現場目線で開発した。開発に携わったのは、製造業の企業に加え、システムの研究者や中小企業診断士、営業、総務、広報など、各分野のスペシャリスト。開発には試行錯誤を重ね、約20年を費やした。

「生産管理システムTED」は、現場で作業するスタッフのことを考え、直感的に操作しやすいよう、ホーム画面に全機能を集約し、いつでもデータ入力しやすいように

6 各工程の状況の報告・確認を作業者ごとに行うことで、高精度の作業実態を収集し、生産計画の精度UPにつなげる

一人一台の端末導入を実現。データを収集し分析することで生産計画の精度をアップさせることができる。納期遅れ、生産の余剰や不足も防ぐことができる。このシステムを導入すれば、製造業の現場の課題が解決できる。DXを成功に導くシステムだ。

この事業を活用しました

いわて商談会

県内ものづくり企業の新取引先開拓及び協業などのきっかけを作っていたため、「いわて商談会」を開催しております。本商談会は東北・関東地区を中心としたメーカーなど発注企業と、本県を主とした受注企業の方々が一同に会して、面談形式による商談を実施することで新規取引先の拡大を支援するものです。今年度は受発注企業合計316社に参加いただき、来年度は令和7年11月に北上から場所を変えて盛岡(ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING)での開催予定となっております。皆様のご参加をお待ちしております。



📞 **お問合せ** ものづくり振興部 取引支援・産業集積担当
TEL:019-631-3822
URL <https://www.joho-iwate.or.jp/torihiki/syoudankai>

当センターが開催しているセミナー、商談会等について

いわて産業振興センターでは様々な事業者様に向けたセミナーや商談会を開催しております。下記は令和6年度開催したセミナー等の一例となっております。令和7年度も事業に役立つセミナー等を開催させていただきますので皆様のご参加をお待ちしております。

自動車関連/令和6年7月開催/自動車部品(トヨタ アクア)分解展示場見学研修
半導体関連/令和6年7月開催/台湾×岩手 交流フォーラム&マッチング商談会
G X 関 連/令和6年12月開催/J-フレジット制度 活用促進セミナー
人 材 関 連/令和6年11月開催/新たな人材活用による事業成長 外部人材活用セミナー



📞 **お問合せ** 総務金融部 TEL.019-631-3820



代表メッセージ 株式会社石神製作所 代表取締役社長 **阿部 志郎**さん

株式会社石神製作所では、小さな部品から製造ラインの装置まで、メーカーのニーズに合わせたものづくりで全国の企業と取引しています。中小製造業は近年、人員不足、労働時間の減少、材料費の高騰など、さまざまな問題を抱えています。そこで、全国の有識者とプロフェクト株式会社を立ち上げ、中小製造業の現場にフィットする「生産管理システムTED」を構築しました。ものづくりが得意な製造業が今後、業績を伸ばすためにDXは重要です。中小製造業の未来のために、今後もシステムのアップデートを続けます。

代表 Profile
1965年生まれ。高校時代はハンドボール競技に打ち込み、インターハイに出場。ハンドボール少年男子岩手県代表キャプテンも務める。1988年石神製作所へ入社。2000年にプロフェクト準備委員会を立ち上げ、2005年にプロフェクト株式会社を創業し代表取締役に就任。2024年から石神製作所 代表取締役社長。

企業データ CORPORATE DATA

会社名 株式会社石神製作所
本社 岩手県花巻市中根子堂前38
TEL 0198-23-4843
代表者 阿部志郎
従業員 33名
事業内容 装置の設計・制作・組立・配線
URL <https://www.e-isg.co.jp/index.html>

沿革 HISTORY

1957年 石神工作組合として創業
1969年 有限会社石神製作所へ改組(資本金 500万円)
1981年 省力化自動機・金型・検査装置の設計・製作スタート
1998年 株式会社石神製作所へ改組
2004年 IT革新事業の認定を経済産業省より受ける
2005年 プロフェクト株式会社 設立
2007年 東北を元気にするIT実践企業に認定を受ける、IT経営実践オピニオンリーダー賞受賞
2008年 IT経営実践企業に認定を経済産業省から受ける、エコステージ認証取得
生産管理システムe-isg 販売開始
2013年 服薬支援装置開発・販売(実用新案)
2014年 新連携計画認定を経済産業省から受ける、ベンダー用特殊金型開発・販売(特許取得)
2018年 配薬支援装置(施設向け)開発・販売、生産管理システム「TED」Version2リリース

産業支援部

『無料の経営相談窓口』
岩手県よろず支援拠点!

当拠点は、国が設置した公的な相談所です。

県内事業者の経営課題解決に向けてアドバイスを
行い、売上拡大・経営改善・事業再構築などについて、
チームで相談者を支援しております。

また、中小企業庁は、適切に価格交渉・価格転嫁でき
る環境を整備するために、全国の「よろず支援拠点」に
「価格転嫁サポート窓口」を設置しております。価格転
嫁サポート窓口では、価格交渉に関する基礎的な知識
や原価計算の手法の習得支援を通じて、下請中小企業
の価格交渉・価格転嫁を後押しします。

どんなお悩みでもお気軽にご相談ください。

■相談について

- ・利用は何度でも無料です!
- ・経営上のあらゆる相談に対応します!
- ・経営課題に応じた専門家がチームで対応します!
- ・来訪、オンライン、電話、メールで対応します

□対面相談

- ・盛岡(いわて産業振興センター)
- ・二戸(二戸地区合同庁舎)
- ・久慈(久慈地区合同庁舎)
- ・大船渡(大船渡商工会議所)

■専門家・専門分野について

- ・中小企業診断士
- ・金融・財務アドバイザー
- ・特定社会保険労務士
- ・補助金、助成金活用
- ・ITコーディネーター
- ・ITコンサルタント
- ・LINE & SNS マーケター
- ・Webクリエイター
- ・Webマーケター
- ・マーケティング
- ・コピーライター
- ・食産業プランナー
- ・ふるさと納税
- ・スタイリスト
- ・宿泊アドバイザー

■ミニセミナー(無料)のご案内

経営相談以外にも、各専門家がセミナーを毎月開催
しています。こちらも、併せてご利用ください。詳しく
はHPをご覧ください。



よろずHP



Facebook



Instagram

■お問い合わせ

岩手県よろず支援拠点(いわて産業振興センター内) TEL.019-631-3826 : 9時~17時

産業支援部

令和7年度【中堅管理者・
後継者養成講座】のご案内

企業が繁栄・存続していくためには、トップを支える
『人財』の養成が不可欠です。本講座では、『人財』に要
求される以下テーマを、実習と体験学習を主体に体系的
に習得いただけます。

- テーマ
- ①経営理念・戦略
 - ②経営計数の理解
 - ③リーダーシップと部下育成

- 受講生の声
- ◇部下の指導に役立てたい。
 - ◇人を活かす立場にいる方々と、普段の
悩み・苦労について話し合う機会があり、
とても参考になった。

- 日程
- 第1講5/20-21、第2講6/18-19、第3講7/15-16
- 会場
- 当センター 会議室(予定)
- 定員
- 16名(予定)

詳細はセンターHPにてご確認ください。

■お問い合わせ

産業人材育成担当 TEL.019-631-3824

産業支援部

「プロフェッショナル人材戦略拠点」のご案内
~貴社が求める人材の採用を支援します!~

貴社の人材ニーズについて当センターから一度に53
の人材紹介会社に情報を提供することが可能な制度で
す。全国の求職者にアピールできます。

納得いく人材を決定するまで、何度面接しても、経費
は発生しません(人材を採用する際には、費用が発生し
ます。)

また、中途採用以外に、人材を雇用するのではなく、
一定期間、業務を委託する「副業・兼業」人材を紹介する
支援も行っておりますので、お気軽にお問い合わせくだ
さい。

詳細は下記URLをご確認ください。

<https://www.joho-iwate.or.jp/prof>

■正社員

- ・取締役・工場長
- ・PM、PL、管理者
- ・資格保有者
- ・基幹システムのDX

■副業人材(コスト低減!)

- ・WEB、ECサイト、SNS支援
- ・ブランディング・
マーケティング強化
- ・就業・給与規定作成

■お問い合わせ

産業人材育成担当 TEL.019-631-3824

産学連携部

無給電EV公用車の試験導入について
『Xcentric-EVの開発』[村上商会(一関市)、八戸高専、一関高専]

商用電源施設を利用せず自給自足の発電方式によ
り走行し、CO₂の排出削減が可能である無給電EV自動
車を公用車として試験的に導入することとなり、11月27
日に株式会社村上商会代表取締役村上竜也様や佐々
木淳理事長などに出席いただき新たな車両の納車式を
行いました。本車両は、当センターが管理法人を務めて
いる成長型中小企業等研究開発支援事業における実証
試験の一環として株式会社村上商会様より、試作モデ
ルの貸与を受け用務において使用し走行データの収集
(走行距離、使用電力等)に協力するものです。



産学連携部では、県内企業からの研究・技術開発や製品
開発に関する相談を受け、大学等研究機関の研究シーズとの
マッチングや競争的研究開発資金獲得、研究開発プロジェ
クトの運営・管理、事業化などの各種支援を行っており、令
和6年度は、県内企業11社の研究・技術開発を支援していま
す。

研究開発資金については、例年2月頃より、国や県等の競
争的研究開発事業の公募が開始となります。事業申請をご
検討されている企業様はお早めにご相談、お問い合わせくだ
さい。

こんな相談をお待ちしています!

- 自社製品開発の費用が欲しい
- 製品開発のための知見が欲しい
- 新たな技術を導入したい
- 研究機関(大学等)のシーズを知りたい
- 研究機関(大学等)と共同研究をしたい
- など

■お問い合わせ

産学連携部 TEL.019-631-3825

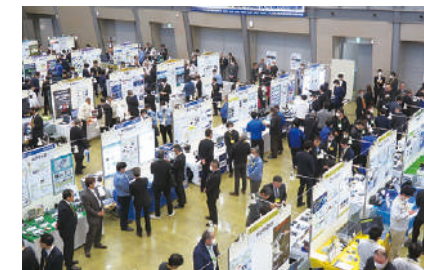
ものづくり振興部

とうほく・北海道自動車関連
技術展示商談会の開催

2月6日~7日の2日間、トヨタグループをはじめとする
東海地方の自動車関連企業に向けて次世代を見据えた
自動車関連技術を提案する「とうほく・北海道自動車関
連技術展示商談会」が愛知県で開催されました。

北海道・東北・新潟県の86企業・団体(うち岩手から14
企業・団体)が出展し、新たなビジネス機会の創出と協業
関係の構築、新規取引拡大に向けて自動車関連の独自技
術のPRを図りました。

当センターでは、本会における商談をフォローアップ
するとともに、今後も受発注の取引支援を継続してまい
ります。



■お問い合わせ

取引支援・産業集積担当 TEL.019-631-3822

ものづくり振興部

半導体関連産業
BCPセミナーの開催

いわて半導体関連産業集積促進協議会(I-SEP)では、半
導体関連産業が集積する北上川バレーエリアの持続的な
発展を図るため、災害等に備える事業継続計画(BCP)の
必要性和具体的な取組について紹介するセミナーを2月6
日に開催しました。

県内における半導体関連産業に携わる企業等から70名
が参加したほか、半導体関連産業の振興に関する連携協
定に基づき、大分県LSIクラスター形成推進会議、みえ半
導体ネットワークからも70名がオンラインで参加し、企業
の持続可能な体制構築について学んでいただきました。

当センターでは引き続き、半導体関連産業集積に向け
た取引支援、技術者育成等の各種支援をI-SEPと
連携して実施してまいります。

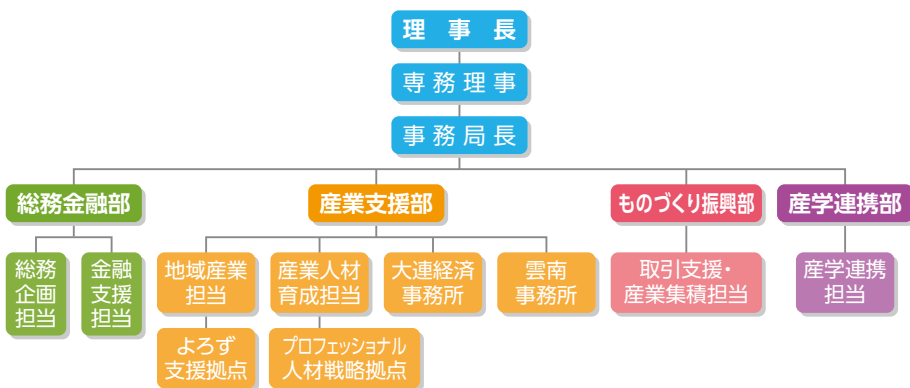


■お問い合わせ

取引支援・産業集積担当 TEL.019-631-3822

岩手県の中核的産業支援機関 公益財団法人いわて産業振興センターをご活用ください。

いわて産業振興センターは、1971年(昭和46年)に県内中小企業の設備近代化を推進するため発足しました。その後、取引支援や研修事業、産学連携による研究開発型企業の育成や物産振興、貿易の推進などの機能を強化して、現在のセンターに発展してきました。



総務金融部
 総務企画担当 ……TEL.019-631-3820(代表)
 金融支援担当 ……TEL.019-631-3821

産業支援部
 地域産業担当 ……TEL.019-631-3823
 産業人材育成担当 ……TEL.019-631-3824
 よろず支援拠点 ……TEL.019-631-3826
 プロフェッショナル人材戦略拠点 ……TEL.019-631-3828

ものづくり振興部
 取引支援・産業集積担当 TEL.019-631-3822

産学連携部
 産学連携担当 ……TEL.019-631-3825

設備貸与制度のご案内

制度の概要

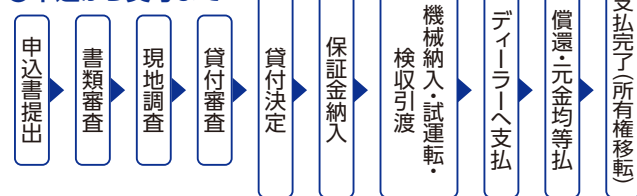
岩手県内の中小企業の皆様が必要とする機械、設備をセンターが購入し、長期・低利で貸与する公的制度です。

制度のしくみ



申込方法

①申込から貸与まで



②申込方法

ホームページから申込書をダウンロードし必要事項を記入のうえ、添付書類を添えて、センターに郵送又は、直接ご持参ください。

貸与の条件

対象企業	県内に事業所・工場を有する中小企業 (企業組合・協業組合含む)
貸付期間	3年～10年(導入設備耐用年数上限)
貸付限度額 (消費税含む)	100万円～1億円
対象設備	自社で使用する事業用の設備(建物を除く)

保証金	貸与額の10%(最終償還時に返済)
利息 (貸与損料)	年率1.10%～1.60%(固定金利) (お申込企業様の財務内容により決定)
連帯保証人	法人:代表者1人、個人事業者:不要 (経営者保証ガイドラインに準拠)

■お問い合わせ 総務金融部 金融支援担当 TEL:019-631-3821

賛助会員制度のご案内

センター事業の一層の充実を図り、皆様のニーズに応じた支援を行うことを目的に賛助会員を募集しています。ご支援いただいた賛助会費は、1/2以上を公益目的事業費として県内企業の発展のために活用し、残りをセンターの運営管理費に充当させていただきます。県内企業の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

年会費	一口20,000円
会員特典	①「産業情報いわて」定期送付 ②取引商談会の参加料割引 ③経営管理者向け研修会の参加料割引 ④社内研修用DVD貸出
申込URL	https://www.joho-iwate.or.jp/sanjo
お問い合わせ	総務金融部 総務企画担当 TEL:019-631-3820